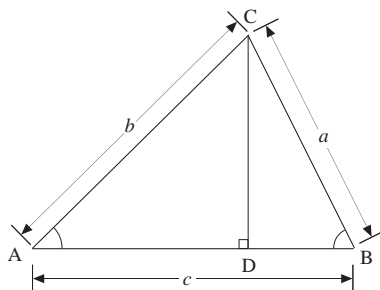


# 三辺測量 (Trilateration)

## 1 余弦定理

余弦定理 (cosine formula) は, 余弦を使った一般の三角形に関する定理である.



正弦定理で用いた図をここでも利用して解説する. 直角三角形 BCD において, ピタゴラスの定理より  $a^2 = CD^2 + BD^2$  が成り立つ. ここで,  $CD = b \sin A, BD = c - b \cos A$  より, 次式を得る.

$$\begin{aligned} a^2 &= b^2 \sin^2 A + (c - b \cos A)^2 \\ &= b^2 \sin^2 A + c^2 - 2bc \cos A + b^2 \cos^2 A \\ &= b^2 (\sin^2 A + \cos^2 A) + c^2 - 2bc \cos A \\ &= b^2 + c^2 - 2bc \cos A \end{aligned} \tag{1}$$

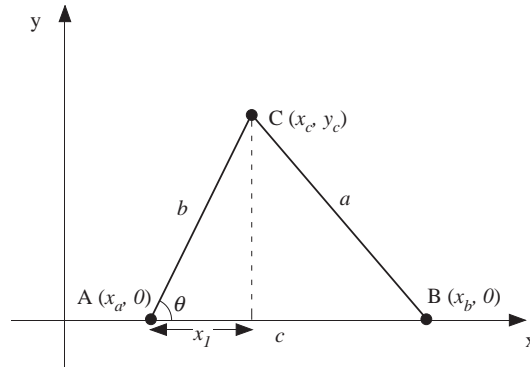
これが, 余弦定理である. この定理は, 二辺 ( $b, c$ ) とその間の角 ( $\angle A$ ) が決まれば, 他の辺 ( $a$ ) の長さが求まることを意味する. また式を変形し,  $\cos A = \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc}$  とすれば, 三辺の長さから角度が求まることを意味する.

なお, ここでは  $a^2 =$  の式になっているが, 他の辺についても同様に導くことが出来, 以下の式が成り立つ.

$$\begin{cases} a^2 = b^2 + c^2 - 2bc \cos A \\ b^2 = c^2 + a^2 - 2ca \cos B \\ c^2 = a^2 + b^2 - 2ab \cos C \end{cases} \tag{2}$$

## 2 三辺測量

三辺測量は、座標が既に求まっている2点を利用し、対象物と2つの既知点でできる三角形の辺の長さを測り、対象物の座標を求めるものである。例えば対象物Cの座標 $(x_c, y_c)$ を求めることを考える。下図のように2つの既知点(基準点)をA, Bとし、それぞれx軸上の点で、AB間の座標は精密に測られているものとする。



AC間の距離 $b$ とBC間の距離 $a$ とを測れば、余弦定理により $\angle CAB$ の余弦 $\cos \theta$ を以下の式で計算できる。なお、 $c = x_b - x_a$ である。

$$\cos \theta = \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc} \quad (3)$$

したがって、点Cのx成分 $x_c$ は、余弦を用いて次式で計算できる。

$$\begin{aligned} x_c &= x_a + x_1 \\ &= x_a + b \cos \theta \\ &= x_a + b \cdot \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2bc} \\ &= x_a + \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2c} \end{aligned} \quad (4)$$

一方点Cのy成分は、ピタゴラスの定理より次式で計算できる。

$$y_c = \sqrt{b^2 - x_1^2} \quad (5)$$

### 3 三辺測定の精度

ここで、三辺測定の精度を誤差伝搬の法則により求める。まず、 $x_1 = \frac{b^2+c^2-a^2}{2c}$  に含まれる誤差  $\sigma_{x_1}$  を求める。距離の精度を、それぞれ  $\sigma_a, \sigma_b, \sigma_c$  とすると、誤差伝搬の法則により次式を得る。

$$\begin{aligned}\sigma_{x_1}^2 &= \left(\frac{\partial x_1}{\partial a}\right)^2 \sigma_a^2 + \left(\frac{\partial x_1}{\partial b}\right)^2 \sigma_b^2 + \left(\frac{\partial x_1}{\partial c}\right)^2 \sigma_c^2 \\ &= \left(-\frac{a}{c}\right)^2 \sigma_a^2 + \left(\frac{b}{c}\right)^2 \sigma_b^2 + \left(\frac{c^2 - b^2 + a^2}{2c^2}\right)^2 \sigma_c^2\end{aligned}\quad (6)$$

$y_c$  に含まれる誤差  $\sigma_{y_c}$  は、同様に

$$\sigma_{y_c}^2 = \left(\frac{\partial y_c}{\partial a}\right)^2 \sigma_a^2 + \left(\frac{\partial y_c}{\partial b}\right)^2 \sigma_b^2 + \left(\frac{\partial y_c}{\partial c}\right)^2 \sigma_c^2\quad (7)$$

偏微分の係数を順を追って計算する。まず  $\frac{\partial y_c}{\partial a}$  を計算するが、 $y_c =$  の式から計算すると、平方根が出て来て計算が煩雑になるので、 $y_c^2$  を直接  $a$  で偏微分する。

$$\begin{aligned}\frac{\partial(y_c^2)}{\partial a} &= -\frac{\partial(x_1^2)}{\partial a} \\ 2y_c \frac{\partial y_c}{\partial a} &= -2x_1 \frac{\partial x_1}{\partial a} \\ y_c \frac{\partial y_c}{\partial a} &= -\frac{b^2 + c^2 - a^2}{2c} \cdot \frac{-a}{c} \\ \frac{\partial y_c}{\partial a} &= \frac{a}{y_c} \left(\frac{b^2 + c^2 - a^2}{2c^2}\right)\end{aligned}\quad (8)$$

同様に  $\frac{\partial y_c}{\partial b}$  を計算する。

$$\begin{aligned}\frac{\partial(y_c^2)}{\partial b} &= 2b - \frac{\partial(x_1^2)}{\partial b} \\ 2y_c \frac{\partial y_c}{\partial b} &= 2b - 2x_1 \frac{\partial x_1}{\partial b} \\ y_c \frac{\partial y_c}{\partial b} &= b - \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2c} \cdot \frac{b}{c} \\ \frac{\partial y_c}{\partial b} &= \frac{1}{y_c} \left(\frac{2c^2}{2c^2} \cdot b - \frac{b^2 + c^2 - a^2}{2c^2} \cdot b\right) \\ &= \frac{b}{y_c} \left(\frac{a^2 - b^2 + c^2}{2c^2}\right)\end{aligned}\quad (9)$$

さらに  $\frac{\partial y_c}{\partial c}$  を計算する.

$$\begin{aligned}\frac{\partial(y_c^2)}{\partial c} &= -\frac{\partial(x_1^2)}{\partial c} \\ 2y_c \frac{\partial y_c}{\partial c} &= -2x_1 \frac{\partial x_1}{\partial c} \\ y_c \frac{\partial y_c}{\partial c} &= -\frac{x_1}{y_c} \cdot \frac{c^2 - b^2 + a^2}{2c^2}\end{aligned}$$

これにより, 求まった偏微分の係数を用いて  $y_c$  の精度が計算できる.